

J A 松任青年部 YOUTH SITE



「食材を届けよう」 J A 松任青年部 × 安井ファーム

企画部会 参加対象者（中央支部・北星支部）

7月25日（日）、J A 松任青年部では安井ファームとタイアップさせていただき、農作業のお手伝いとして、ブロッコリーの種まき作業を行いました。

青年部が【労働】、農家が【食材】を担う形で子ども食堂に寄贈し、訪れた子どもたちに【食】で地域に笑顔を広げたいと作業に汗を流しました。

コロナ禍の影響を受け、これまでの慣習である村おこし

イベント等は自粛している中、企画部長西村天秀さんと企画部員一同が「こんな時代だからこそ地域貢献活動をメインに、出来る範囲のことを模索しよう」と発起し、地元農家からの応援と青年部の熱い思いが合致した活動となりました。

当日集まったメンバーからは「子どもたちの笑顔と未来のためにこれからも頑



ブロッコリー種まき



張りたい」と声が上がリ、やる気は満タンで作業を開始！予定を上回るスピードで作業を進めていき、約120トレーに種をまききる事ができました。

作業を終えてから安井ファームの畑中さんより「手作業の場合はどうしても人手が必要になるので助かりました」とのお言葉をいただき、一同に笑顔が溢れました。

「食材を届けよう」 J A 松任青年部 × 宮川

企画部会 参加対象者（西南支部・松南支部）

8月8日（日）、第一回よりメンバーを変えて行った同企画は、コロナ対策により前回参加できなかったメンバーによるものとなりました。

青年部とタイアップしてくださったのは、現副委員長の宮川正さんのハウスで、メロンの栽培を終えた後の片付け作業を手伝いました。「いつもは合間をぬって片付けをしていたが、青年部が手伝ってくれて助かりました。また来年もよろしく!!笑」と話していました。

今回も青年部が【労働】、農家が【食材】を

担う形で子ども食堂に寄贈し、訪れた子どもたちに【食】で地域の笑顔を広げる事を目的とし、一杯の活動を行いました。



メロンハウス片付け





【海岸清掃を行いました】

7月11日(日)に、JA松任青年部が主催する『海岸清掃美化活動』が小川海岸にて行われました。

地域交流部会部長の北村さんは、開会までの準備を含め各人員の配備やケガのない清掃活動を行うにあたっての注意事項を、盟友やその家族総勢70名の参加者に説明しました。

当日は予定していた徳光海岸にはゴミがなくキレイな海水浴場となっていたので、会場の移動から始まり、開会式と同時に雨が降ってくるなどのハプニングにも見舞われましたが、海岸に打ち寄せられているゴミの多さに負けない気持ちで、委員長や地域交流部主導のもと、各地区に分かれてごみの収集に努めました。

時間まで目一杯活動をし、集まったごみを使い楽しいイベントを企画!!重さ比べなどを行い、もっとも優秀だった地区を表彰しました。

地域交流部会



参加者にはお子さんと一緒に参加して頂いた方もチラホラと…ちょっととした企画でしたが会場は大盛り上がり!朝の早い時間に行った今回の『海岸清掃美化活動』も終盤に差し掛かってくると、盟友からは『風もあって爽やかやね〜』『気候もちよつとよかったな〜涼しいし』等、終始楽しく過ごせたことと地域貢献を兼ねたことに颯爽とした気持ちになりました。集めたごみは地域交流部会が、小川

クリーンセンターまで運びました。

今後、地域のための青年部を目指し活動を広げていきますので、皆様もぜひ応援!ご参加!ください!!お待ちしております!!!

【菜種刈り】

松南支部山島地区

6月13日(日)に、山島夏祭りの松明に使用する菜種を刈り取る菜種刈りを行いました。

菜種は夏祭りでは各町内を練り歩く俵型の松明で使用する植物で、昨年の9月に種まきを行い、約1年かけて育てていきました。菜種を刈り取ったら、乾燥させて、来年度の種を取った後に、荒縄で菜種を編んでいき、松明を作っていく予定でしたが、去年に引き続き新型コロナウイルス感染症予防のため、夏祭りは神事のみで開催となってしまうました。そのため、松明を作成して各町内を練り歩くということは行いませんが、来年度の種取りと神事用と山島こども園で子供たちが夏祭りで使用するミニ松明用の菜種刈りとなりました。

松明を作成し、各町内を練り歩き、五穀豊穣を祈願するという本来の夏祭りを行うことができませんが、来年こそは本来の夏祭りが開催できることを願いながら、今後乾燥、種取り、来年度用の菜種の種まきと作業を行っていききたいと思います。

